

「化石と私 パート2—私の宝物—」へようこそ

3・11の東日本大震災・原発事故以後、9ヵ月が過ぎました。いわき市も大きな被害を受けました。また当地域に隣接する双葉地方は、その大部分が「警戒区域」として立入が禁止されて、未だ故郷へ帰る目処がたたない方々も大勢おられます。被災された皆様には、心からお見舞い申し上げるとともに、早期復興と故郷へ帰れる日が一日も早いことをお祈りいたします。

当いわき市アンモナイトセンターも災害の渦中にありましたが、体験発掘は休止しているものの、7月15日に開館し、現在に至っております。

震災・原発事故を受け、今年度は、「化石の宝庫いわき」を再度アピールし、復興に向けた「元気ないわき」の姿を表していきたいとの思いから夏・冬を通した企画展を開催することとしました。夏は、センター産出化石を展示し、化石への思い出を振り返っていただくことを目的に「化石と私（パート1）—その出会いの話—」を企画しました。

冬は、「化石と私（パート2）—私の宝物—」と題し、より強く、震災・事故からの復興応援となるよう化石に関わる思い（話）を募集し、そこから化石の魅力をさぐり、「化石の宝庫」のすばらしさを伝えていきたいとの願いを込めて開催いたします。

あわせて、興味を持ち続けることの大切さ、調べることの楽しさを感じていただけたら幸いです。

今回、親子で応募していただいた方が何組かおります。親が持ち続けた子どもの頃の化石に対する記憶が、親子で体験することでよみがえり、その後続けられる方が増えています。親と子が化石発掘などの趣味を一つにして、楽しみながら家族の絆を深めていくこと、そういったことが、とても大事であるという内容も展示作文から感じていただけるのではないのでしょうか。

8,900万年前の世界に思いを馳せながら、「化石と私」に込められたそれぞれの思いを、時間の許す限り、どうぞごゆっくりごらんください。

平成23年12月23日

いわき市アンモナイトセンター 所長 坂本 昭夫